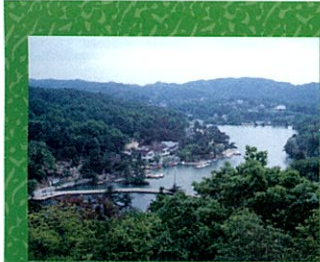


沿線風景



くらんど池
 松林に囲まれたくらんど池は、森林浴、キャンプ、バーベキュー、ハイキングなどアウトドア・スポットとして賑わっています。

奈良県コースの所要時間

約1時間

起点までの最寄駅と所要時間

奈良交通バス 近鉄奈良線「富雄」駅から「上大北」バス停まで30分

奈良県コースの距離

2.8km

終点

京阪交野線「私市」駅から県境まで徒歩50分

コースガイド

くらんど池は、「山に沿った谷の池」という意味で、寛永元年(1700年)に灌漑用に開削されたものといわれている。冬にはマガモ等水鳥が群れる。



高山城址は、この地の土豪藤山氏の居城と伝えられる中世の山城の跡で、規模は約110メートル×100メートル。



高山の里は、伝統工芸品として竹製品を生産している。とくに、茶笥は全国の90パーセントを生産。



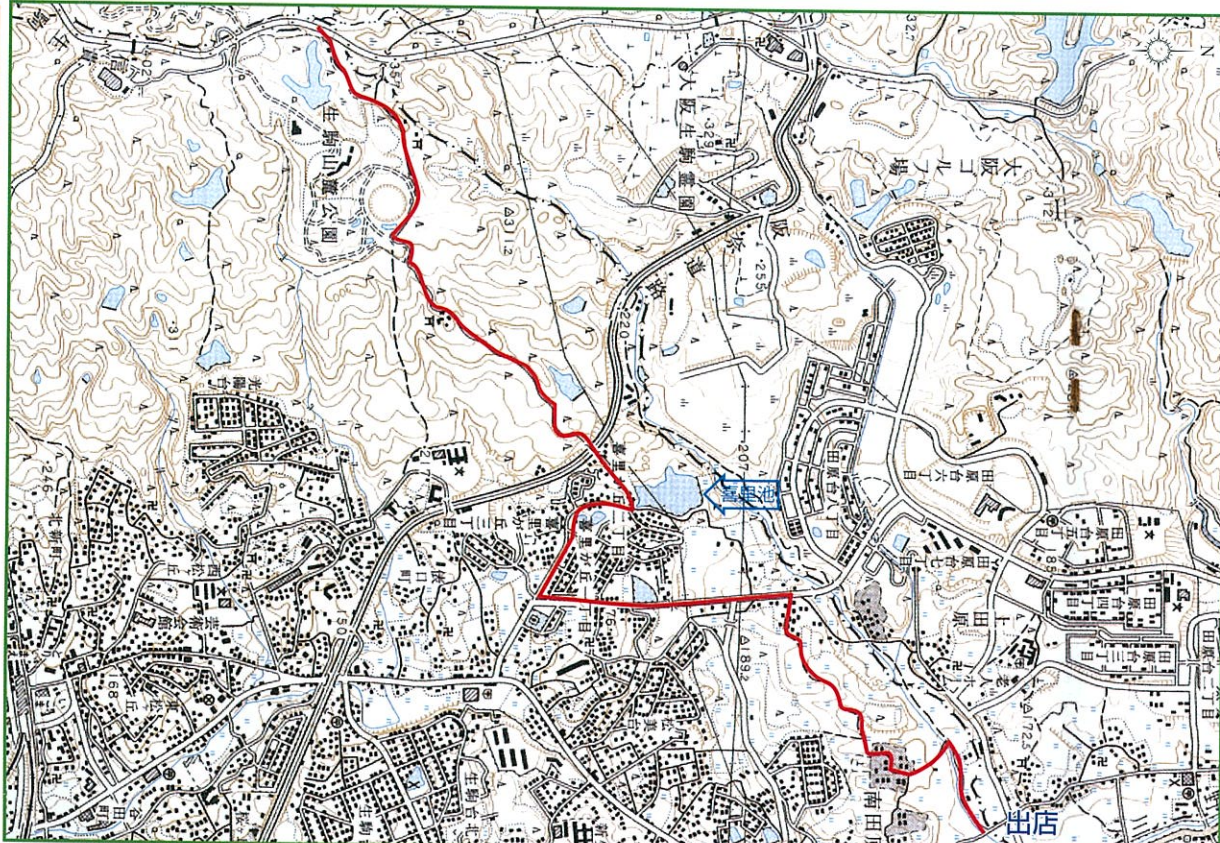
高山竹林園は、竹製品の振建設日本料館されPRと地場産業興を図るためにされた。美しい庭園の中に、資等の建物が配置している。

くらんど池を訪ねるみち

沿線風景

大阪府の藤阪からくらんど池を経て生駒市高山の里をたずねるコース。高山は「茶笥の里」の別名がある。くらんど池は松林に囲まれた山間のため池で、北岸に旅館や売店が数軒ある。池の南岸をめぐる、コナラ等の二次林の混じる丘陵地を縫って歩く。途中の丘の上に高山城址がある。茶笥の里・高山の集落を抜け、高山竹林園に着く。終点は上大北のバス停である。





沿線風景 500m 0 500 1000 1500



**生駒山麓公園
ふれあいセンター**
緑に囲まれた生駒山麓公園の中で、市民の学習、文化活動、レクリエーションと保養の場として利用していただく施設です。テニスコート、温水プール、野外活動センターなどがあります。

奈良県コースの所要時間

約2時間

起点までの最寄駅と所要時間

奈良交通バス 近鉄奈良線「生駒」駅から「出店」バス停まで16分

奈良県コースの距離

4.0km

終点

県境から近鉄奈良線「石切」駅まで 徒歩 1時間

コースガイド

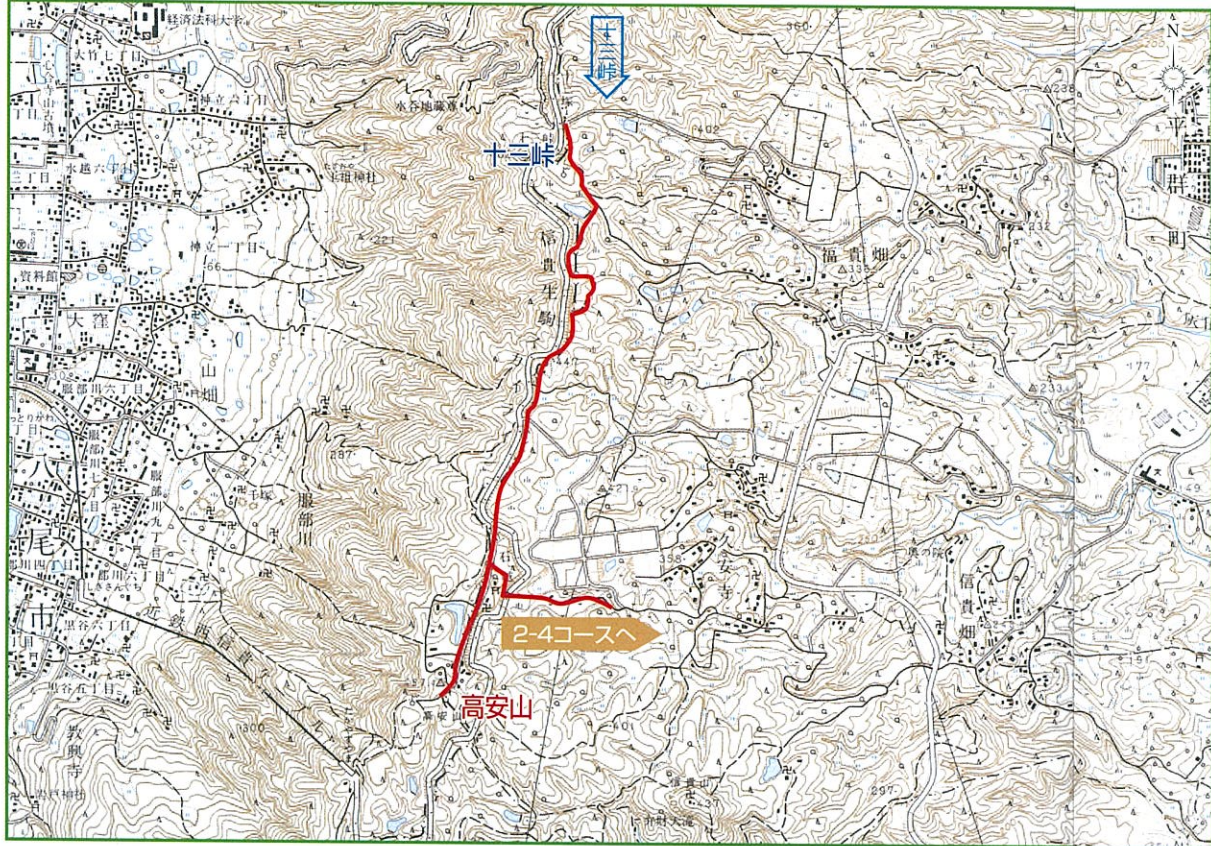
生駒山麓公園は、広大な緑に囲まれた生駒市営の総合レクリエーション施設。中心にふれあいセンターがあり、宿泊・研修・入浴ができる他、温水プールも設けられている。屋外施設には多目的広場・テニスコート・フィールドアスレチック・ゲートボール場等があり、子供から老人までいろいろな階層が楽しめるようになっている。

生駒山眺望のみち

沿線風景

生駒市南田原の田園地帯から静かな雑木林の中を登り、県境の稜線をこえて大阪府側の近鉄石切駅へ下山するコース。南田原は、天野川上流部の農村地帯。南西に生駒山を眺めながら、春ならばスミレ・タンポポ・レンゲソウの咲き競う畑や水田の中の小道を、ゆるやかに登ってゆく。喜里池を過ぎ、阪奈道路の上を渡ると、コナラやリョウブの林の中を徐々に高度をかせいで行く。中腹には、生駒山麓公園が二十ヘクタールにわたって整備されている。稜線に出ると、信貴生駒スカイラインの下をくぐり、大阪府側へ出て、整備された生駒縦走歩道をたどり、石切へ向かって下りてゆく。





沿線風景



夜景
季節に関係なく、生駒山上から見下ろすその光景は、瞬刻間に飛び込んで、今までにない感動を味わうことができます。

奈良県コースの所要時間

約1時間20分

起点までの最寄駅と所要時間

近鉄奈良線「石切」駅から「十三峠」まで徒歩7時間

奈良県コースの距離

2.6km

終点

近鉄西信貴ケーブル「高安山」駅

コースガイド

生駒山は標高642メートル、山頂部は近鉄が経営する大遊園地となっている。宇宙科学館等の施設もあり、展望良好。コースは遊園地の中を通るが、ハイキングだけなら入園料はとられない。

暗峠は、すでに奈良時代から平城京と難波をつなぐ国道の役割を果たしていた「暗越え奈良街道」の最高地点で、標高456メートル。今も石畳が残っている。

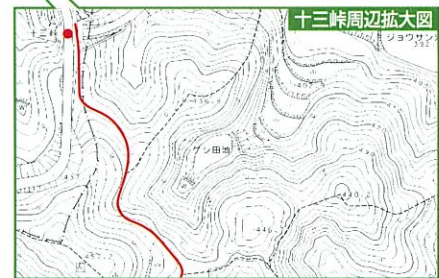
鳴川峠もやはり大阪と奈良を分ける古くからの峠で、室町時代の地蔵石仏がある。

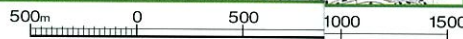
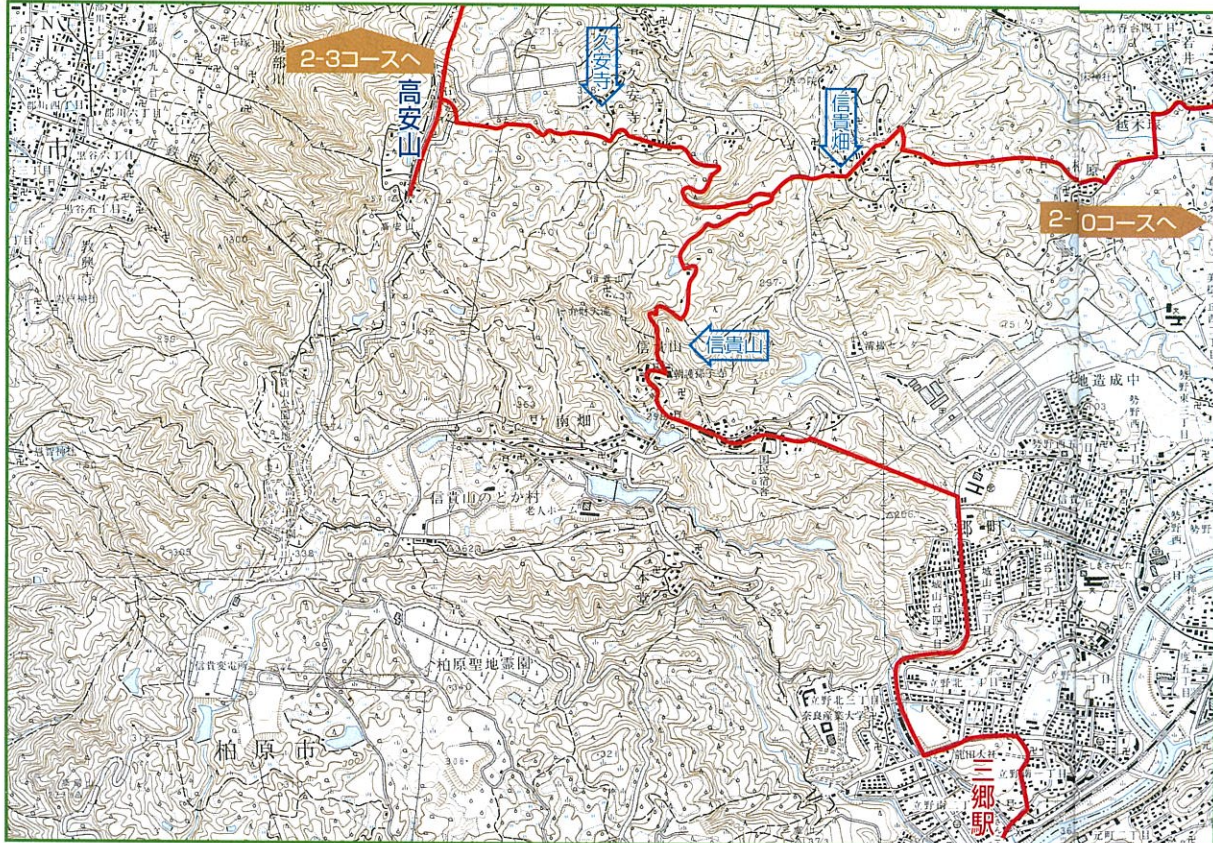
十三峠は、中世後に造られたと見られる13の塚(重有形民俗文化財)名前のもとになっている。塚の目的はわかっていない。

沿線風景

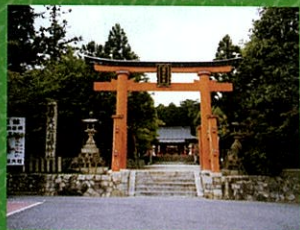
生駒山・鳴川峠・十三峠をめぐるみち

生駒山から高安山までの稜線を縦走するコース。大阪府側の近鉄石切駅から登って稜線に取りつき、大阪府によって整備された生駒縦走歩道を生駒山頂上までたどる。頂上直前の階段を登りきって初めて奈良県側に入り、遊園地の施設の間につけられた静かな歩道を近鉄生駒ケーブル山上駅に向かう。春ならばサクらの花を楽しめる。駅からは遊園地の中へ入園し、遊戯施設の中を南西方向へ下ってゆく。施設が終わると、大阪府側へどんどん下る。暗峠で再び県境へ戻り、花木等の植えられた府民の森の中を県境沿いに南下する。ここからは、県境を出たり入ったりしながら鳴川峠・十三峠・立石越えと稜線をたどり、雑木林の中に所々開かれた展望を楽しむ。近鉄西信貴ケーブルの高安山駅でコースを終える。





沿線風景



龍田神社

古来、龍田神社は歴代の朝廷からも深く信仰された由緒ある神社で、天御柱命(志那都比古神)と国御柱命(志那都比売神)をおまつりしています。

奈良県コースの所要時間

約2時間40分

起点までの最寄駅と所要時間

近鉄西信貴ケーブル
「高安山」駅

奈良県コースの距離

8km

終点

JR大和路線
「三郷」駅

コースガイド

高安城は、天智6年(667年)大和防衛のために中大兄皇子(後の天智天皇)が築いたとされている幻の城。城跡の全貌はまだ明らかになっていない。



信貴山は、聖徳太子によって開かれたと伝承される霊場。中心となる朝護孫子寺は、国宝・信貴山縁起絵巻でも有名。俗に「信貴の毘沙門天」と呼ばれ、広く信仰を集めている。



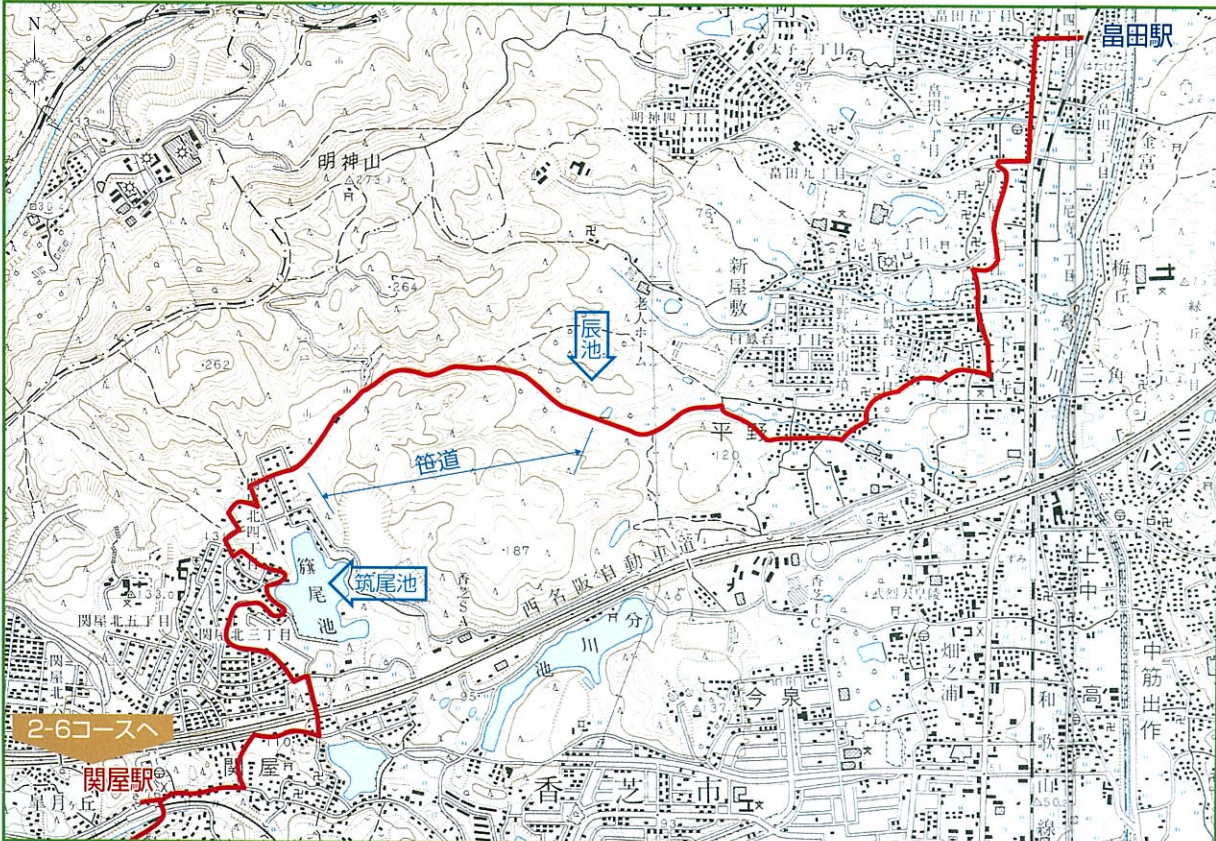
龍田社は、崇神天皇の創建と伝えられる由緒ある神社。業や航海に霊驗があるとされている。

高安山・信貴山をめぐるみち

沿線風景

高安山から信貴山の中心部を通り、龍田神社を経てJR三郷駅に下るコース。高安山から立石越に出て東に向かい、点々と雑木の混じる田園地帯を下る。久安寺の集落を過ぎ大きく南に迂回すると、信貴山の中心部に達する。朝護孫子寺を中心とする寺院建築物群の間を通り抜けると門前町の町並みとなり、一直線に東へ向かって下る。城山台・立野北の住宅団地の中を下ると、森林を背にした龍田大社があり、JR三郷駅に至る。





沿線風景



白山姫神社

白山姫神社は、貞観3年(862年)の創建とされ、五穀豊穡を祈願する神。絵馬堂や、石造唐獅子1対が見もの。

奈良県コースの所要時間

約3時間30分

起点までの最寄駅と所要時間

JR和歌山線
「畠田」駅

奈良県コースの距離

6.9km

終点

近鉄大阪線
「関屋」駅

コースガイド

王寺町畠田には、六斎念仏の石碑と乳かけ地蔵がある。乳かけ地蔵には、推古天皇が皇女を産まれたときこの地蔵に祈願され、乳の出がよくなったという言い伝えがある。

白山姫神社は、貞観3年(862年)の創建とされ、五穀豊穡を祈願する神。絵馬堂や、石造唐獅子1対が見もの。

平野塚穴山古墳は、7世紀後半～末頃の築造と考えられている。凝灰岩の切石を使用している。史跡。

旗尾池は周囲約2キロ、面積6.6ヘクタール。聖徳太子が灌漑用えられる。5ような形が広がっている。東岸に林がある。

沿線風景

平野川のせせらぎと旗尾池を楽しむみち

JR畠田駅から平野川をさかのぼり、旗尾池を経て近鉄関屋駅に至るコース。畠田から尼寺・白鳳台・平野と古い家並みに神社や寺院の混じる集落を抜け、平野から西へ、平野川に沿ってさかのぼる。辰池を過ぎると、カキ・ミカン・クリ・ブドウ等を栽培する果樹園の中を抜け、流れが細くなるとともにアカマツやコナラの林となり、峠に着く。峠はゴルフ場開発工事が中断しているところ。芝生・石積・道路等が残っている。峠からは南へ、祇園荘等関屋北の高級住宅地を抜けて旗尾池の西岸に出、西名阪自動車道の下をくぐって、西へ向かい、近鉄関屋駅に至る。

